

利 用 報 告 書

課 題 名 (英文名)	企業行動の国際比較分析 International Comparative Analysis on the Behavior of Corporations － An Empirical Study －
利用者名	道明 義弘 (社会学部 教授)
<p>1. 研究目的・内容 日本および米国、カナダ、世界各国の企業についての財務データベースを利用し、企業行動を分析し、行動比較を試みる。</p> <p>2. 研究方法・計算方法 日本政策投資銀行「企業財務データバンク」、S&P's COMPUSTAT、S&P's GLOBAL Vantage のデータをパソコンを用いて処理し、SPSS、TSP 等の統計処理ソフトを用いて計算処理を行うことによって、企業行動の解明を試みる。</p> <p>3. 研究成果 本年度は日本企業について、その行動を解明する手がかりとなる下記のような成果を得た。</p> <p>4. 発表・出版実績または予定 「産業（業種）別OEM化と利益決定のメカニズム：パネルデータによる先決性の検定」 道明義弘・伊藤研一 奈良大学情報センター年報 第14号 2003年11月 「産業（業種）別OEM化と設備廃棄決定のメカニズム：パネルデータによる先決性の検定」 道明義弘・伊藤研一・井澤裕司 ファイナンス研究センター リサーチペーパーシリーズ（立命館大学）第03-004号、2003年12月 「存続企業と非存続企業の株価決定要因：パネルデータによる先決性の検定」 道明義弘・伊藤研一 ファイナンス研究センター リサーチペーパーシリーズ（立命館大学）第03-005号、2004年2月 「企業規模別上場継続企業の株価決定要因：パネルデータによる先決性の検定」 道明義弘・伊藤研一 ファイナンス研究センター リサーチペーパーシリーズ（立命館大学）第03-006号、2004年2月 「わが国上場企業における株価と企業業績：パネルデータによる先決性の検定」 道明義弘・伊藤研一 奈良大学紀要、第32号、2004年3月 「わが国上場企業における株価と収益・成果：パネルデータによる先決性の検定」 道明義弘・伊藤研一 ファイナンス研究センター リサーチペーパーシリーズ（立命館大学）第03-012号、2004年3月 「わが国上場企業の平均株価決定要因：パネルデータによる先決性の検定」 道明義弘・伊藤研一 ファイナンス研究センター リサーチペーパーシリーズ（立命館大学）第03-013号、2004年3月 「わが国上場製造企業における株価と収益・成果：パネルデータによる先決性の検定」 道明義弘・伊藤研一 ファイナンス研究センター リサーチペーパーシリーズ（立命館大学）第03-014号、2004年3月</p>	